

謎の覆面作家・井上真偽さんが来校！

成瀬高校図書委員会は、今年も元気に「作家訪問」を実施しました。今回の作家さんは「井上真偽さん」です。本来の作家訪問は、“図書委員会の生徒が作家さんを訪問してインタビューする”という形ですが、異常な猛暑の中、生徒の熱中症が心配だったため、作家さんのご厚意で来校していただきました。

通算4回目になる今回の作家訪問で特筆すべきことは、井上真偽さんが「覆面作家」だということです。そのため、インタビューはOKでも写真はNGとの条件付きでオファーを受けていただき、生徒は一体どんな方がいらっしゃるのか、ドキドキしてお待ちしました。 <この取材の詳細は図書委員会広報誌『木馬』第102号に収載予定です。>

■井上真偽（いのうえ・まぎ）氏プロフィール

東京大学卒業。神奈川県出身。『恋と禁忌の述語論理』でメフィスト賞を受賞。

第2作目『その可能性はすでに考えた』が2016年度本格ミステリ大賞候補。

『探偵が早すぎる』（講談社）が 毎週木曜日 PM11:59～ 日本テレビ系で連続ドラマ放映中。

第4回作家訪問

訪問者：井上真偽さん

日程：8月23日（木）15時00分～17時30分

場所：成瀬高校1階・図書館

参加生徒：図書委員会7名、文芸同好会等2名の計9名

教職員：進路指導部主任教諭・国語科教諭・司書教諭、各1名



井上真偽さん（左下の手に注目）のお話に耳を傾ける図書委員